



令和 2 年 6 月 10 日

保護者様

京都市立下京雅小学校
校長 上川 依子

6月15日からの通常再開について

紫陽花が大輪の花を咲かせるころとなりました。日ごろより本校の教育にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

子どもたちは、「ウォーミングアップ期間」の中で、活動の前後には手を洗い、自分のハンカチで手をふく習慣やマスクの着用など「新しい学校生活スタイル」を理解し、意識の高まりを感じます。ご家庭でもご理解、ご協力をいただき、検温や健康観察票の提出など、さまざまな働きかけに感謝いたします。

いよいよ 15 日から通常再開いたしますが、変更点についてお知らせいたします。分散登校の様子を考慮しての変更点であることをご理解いただきますようよろしくお願ひいたします。

【登校について】

「**集団登校なし** (8:05~8:25 の間に登校)」

現在、半数の児童が分散登校をしている登校の様子から、全校児童が登校するとこれまで以上の密集が予想されます。登校の際には、地域の方にご協力いただき、交差点や歩道橋付近等の見守り活動を行い、教職員も学校周辺の見守りを行います。1年生の保護者の方には、分散登校期間中、できるだけの付き添いをお願いし、安全な登校を支えていただきありがとうございました。今後も可能な範囲で見守っていただきながら、自分たちの力で登校できるように支えていただきますようよろしくお願ひいたします。



【マスクの着用について】

6月も中旬にさしかかり、気温と湿度の大変高い毎日です。熱中症が心配されるようにもなりました。しかし、感染症予防のためには原則マスクを着用することになっています。

教室では、換気をしながらもエアコンを使い熱中症の危険を下げています。体育の授業では距離をとりながらマスクを外し、休み時間も気温や子どもの様子を見ながら、必要に応じてマスクの着脱の指導をしています。

しかし、心配なのは登下校です。大人の目が十分行き届かない登下校時においては、自分で考えて「しんどくなる前にマスクを外す」ことが難しいのが子どもです。特に1年生や2年生においては難しいと思います。

そこで、学校では登下校時をはじめ、学校生活の中でのマスク指導について、以下のように行い、子どもたちがより自分で判断して安全に生活できるようにと思います。ご家庭におかれましても合わせてお話しいただきますよう、よろしくお願ひいたします。

「しんどくなる前にマスクを外す」ただし「マスクを外したら話をしない」

(マスクは飛沫を防ぐために着用していることを理解し、外した時にも飛沫を防ぐ。)